

○ 校訓

＜自治三訣＞

「人のお世話にならぬよう 人のお世話をするよう そしてむくいを求めぬよう」

○ 学校教育目標 「自ら学び、心豊かにたくましく生きる七塚っ子の育成」

1 めざす児童像

- (1) 確かな学力 「よく考え、進んで学び合い自己表現できる子」
- (2) 豊かな感性 「心豊かで、思いやりのある子」
- (3) 心身の健康 「健康な心と体で、最後まで粘り強くやりとげる子」

2 めざす教師像

- (1) 児童をよく理解し、一人一人の可能性を引き出し伸ばす教師
- (2) 教師力向上のために、積極的に研修・研鑽する教師
- (3) 危機管理意識を絶えず持ち、組織の一員として行動できる教師

3 めざす学校像

- (1) 児童一人一人の持ち味を生かして自信を持たせ、知・徳・体の各能力を高めて人間力を育成し、その自己実現を支える
- (2) 教職員一人一人が仕事に誇りを持ち、役割を全うすることで社会的責任を果たし、その自己実現をかなえる
- (3) 家庭・地域との信頼関係を築き、一体となった教育活動により、その願いに応える

○ 今年度の重点目標

(1) 確かな学力の育成と読書習慣の定着

- ① 校内研究や若プロ等の研修を核にして教師の授業力・教師力を向上させる。
- ② 学力向上ロードマップや学力向上プラン、学力調査の活用によって学力を向上させる。
- ③ 関心・意欲を高める効果的な読書活動を通して、豊かな読書習慣を定着させる。

(2) 小中連携した外国語教育の推進と ICT 環境の整備

- ① 外国語教育の全面実施を踏まえ、「話す・聞く・読む・書く」力を計画的に育成する。
- ② ICT 機器の効果的な活用による、指導法の工夫・改善を進める。

(3) いじめ・不登校や問題行動の未然防止と心の教育・特別支援教育の充実

- ① 授業等教育活動全般に生徒指導の3機能をもたせるとともに、キャリア教育の視点で個々のよさや特性を認め合うことで自己肯定感・有用感を高める。
- ② いじめアンケートやQ U調査の活用、保護者との連携により問題を早期に発見し、迅速に組織的対応を行う。また、より良い人間関係づくりの支援を行う。
- ③ 保護者やスクールカウンセラー、関係機関とも必要に応じて積極的に連携し、計画的・組織的に支援する。

(4) 児童生徒の体力・運動能力の向上と食育の推進

- ① 県教育委員会の体力づくり1校1プランやスポチャレを生かした取組により、全校で気運を高め、体力を向上させる。
- ② 健康の保持増進、安全な行動の大切さを理解させ、家庭との連携を図りながら習慣化させる手立てを講じて、健康・安全な生活習慣を身につけさせる。
- ③ 栄養素の理解や間食の取り方、野菜づくりや食材の生産流通などについて、教科横断的に取り上げ、心身の健康を食べ物の視点からもアプローチする。

(5) 教職員の働き方改革の推進

- ① 会議や行事の精選・効率化を図り、子どもと向き合い教材研究する時間を確保する。
- ② 効率的・効果的な学習となるよう、教科横断的な視点でカリキュラムをマネジメントする。
- ③ 教職員の意識改革を図るとともに、PTAや地域人材と積極的に連携し活用する。